

清水合金製作所

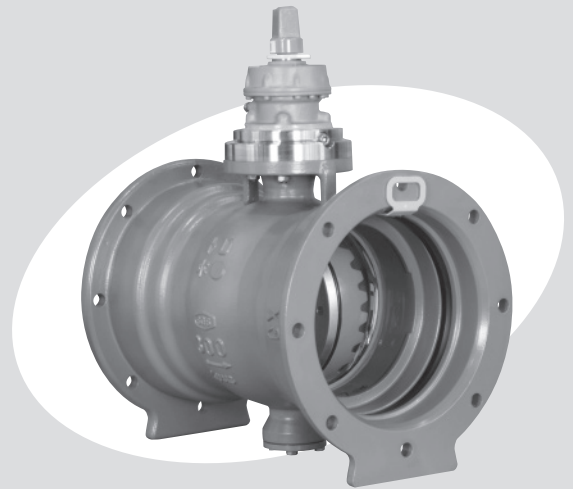
バタ弁シリーズ  
数珠つなぎ②

東京営業所 渡邊 祥太 氏



イチオシ!

耐震形  
充水機能付 **GXバタ**



小開度の流量調整細やかに  
耐震化や管理ニーズに応え

東京営業所の渡邊祥太氏は入社15年を迎える中堅営業マン。5年間の名古屋営業所勤務を経て現在は埼玉県、山梨県の顧客を担当している。バルブ全般に関する拡販活動や納入調整、不具合等への対応に日々取り組むなか、「インフラに関わる仕事なのでトラブルには即対応できるように常にアンテナを張り、技術部門との横の連携を意識しています」と営業担当としての心がけを語る。

そんな渡邊氏のイチオシ製品は「充水機能付きGXバタ」。φ300・400のGX形ダクタイル鋳鉄管に対応したバタフライ弁だ。スムーズな初期通水を実現する充水機能を支えるのは、弁体に複数設けられた小さな「くし歯」状の溝。バルブの開度に応じた細やかな流量調整を可能としている。

「通常のバタフライ弁の場合、構造的に小開度でも開口面積が一気に大きくなり、通水流量が急増してしまいます。キャビテーションによる管体へのダメージや赤水などを防ぐには、充水時に少しずつ流量を増やしていく必要があり、そうしたニーズを叶えるのが本製品です」と渡邊氏は説明する。

くし歯形状の溝は、水の流れを妨げることなく開口面積の急激な拡大を抑制する。充水時に使用する開度25%までの小開度においては、開度に応じてゆるやかに上昇する理想的な流量曲線を描く。「充水に適した開度を一目で確認できる目盛りを備えているほか、弁翼が副弁の役割を兼ねるため、副弁やバイパス管も不要です」と、安全で円滑な充水作業に必要な機能が詰まっている。

GX形に対応したバタフライ弁は、水道事業体にとって不動のニーズである「耐震化」に寄り添うもの。渡邊氏は「基幹管路の耐震化を検討している事業体の方からは、GX管に対応したバタフライ弁への根強い要望の声を聞いていました」と営業活動を振り返る。「バタフライ弁は弁体の垂直方向の移動がないので、バルブ全体の高さを抑えることができ、この特徴は管路の埋設深度にも関わってきます。基幹管路の更新に対応できる本製品は、特に給水人口の多い事業体から好評をいただいています」。

さらに、同製品は「維持管理」にも適した特長を持つ。「バルブは弁体や操作機といった複数の部品で構成されていますが、どれかひとつでも破損や消耗すると、一度通水を止めて交換する必要がありました。特に操作機は可動部が多いため、オイル切れや歯の摩耗などによって弁体よりも早く消耗するケースもありま

す。本製品はそうした場合にも、通水を維持した状態で消耗した部品を単独で交換することが可能です」と解説する。固定ボルトで弁棒の回転を停止し、操作機を外しても水圧で弁体が動かないようにできるため、適切な開度を維持したまますばやく部品交換ができる。水を止められない事業体のニーズに応えた、優れたメンテナンス性を備えている。

顧客に寄り添い、日々営業活動に取り組むなか、部門の垣根を超えた会社一丸での連携の重要性を強調する。「日頃から技術部門、生産部門とも緊密に情報交換し、スムーズに対応できる体制を構築しています」。さらに信頼を寄せられる理想の営業マンを目指し、今日も奔走する。



現場に急行しバルブの作動状況を確認

■通水状態で操作機を交換できる、優れたメンテナンス性を実現

